

保 護 者 様

京 都 市 保 健 福 祉 局  
医 療 衛 生 推 進 室 医 療 衛 生 企 画 課

＜令和7年度＞日本脳炎ワクチン予防接種「第2期」の御案内

日頃は、京都市の予防接種事業に御理解と御協力をいただき、ありがとうございます。  
日本脳炎予防接種「第2期」の接種対象年齢の皆様へ順次個別通知をお送りしております。

つきましては、お子様の予防接種の記録を母子健康手帳等で御確認いただき、日本脳炎「第2期」が未接種である場合は、同封の「日本脳炎予防接種のお知らせ」を御覧いただいたうえで、接種を御検討くださいますようお願い申し上げます。

記

1 日本脳炎「第2期」の接種対象年齢

9歳以上13歳未満（標準接種年齢は9歳です。）

2 費用

無料

3 持ち物

- ・ 必要事項を記載した予診票及び予防接種券
- ・ 母子健康手帳

4 場所

京都市予防接種協力医療機関（※ 要予約）

5 その他

子どもの予防接種について、詳しくは京都市ホームページをご覧ください。



お問合せ先

京都市保健福祉局医療衛生推進室 医療衛生企画課 予防接種担当

電 話：075-222-4421 FAX：075-708-6212

08.04

## RSウイルス感染症予防接種予診票(妊婦用)

※太枠の中のみボールペンで記入してください(鉛筆や消えるボールペンは不可)。		診察前の体温	度	分
住所	京都市( )区			
受ける人の氏名		接種日時点の妊娠週数	週 日目	
生年月日	西暦・昭和・平成 年 月 日(満 歳)	出産予定日	年 月 日	
※定期接種対象期間：妊娠28週0日～36週6日まで				
今日の体調はいかがですか。以下の質問について、あてはまるところを記入して、○で囲んでください。				
質問事項		回答欄		医師記入欄
(1) RSウイルス感染症の予防接種を受けたことがありますか。 ある場合、それは今回の妊娠中ですか。		はい	いいえ	
(2) 今日受ける予防接種について説明書を読みましたか		いいえ	はい	
(3) 今日の予防接種の効果や副反応などについて理解しましたか。		いいえ	はい	
(4) 現在、何か病気にかかっていますか。 病名( )		はい	いいえ	
治療(投薬など)を受けていますか。 その病気の主治医には、今日の予防接種を受けてもよいと言われましたか。		はい	いいえ	
(5) 免疫不全と診断されたことがありますか。		はい	いいえ	
(6) 今日、体に具合の悪いところはありますか。 具体的な具合の悪い症状を書いてください。( )		はい	いいえ	
(7) これまでに予防接種を受けて具合が悪くなったことがありますか。 予防接種の種類( )		はい	いいえ	
(8) ひきつけ(けいれん)を起こしたことがありますか。		はい	いいえ	
(9) 薬や食品で皮膚に発しんやじんましんが出たり、体の具合が悪くなったことがありますか。		はい	いいえ	
(10) 1か月以内に予防接種を受けましたか。 予防接種の種類( )		はい	いいえ	
(11) 心臓病、腎臓病、肝臓病、血液疾患などの慢性疾患にかり医師の診察を受けたことはありますか。 病名( )		はい	いいえ	
その病気を診てもらっている医師に今日の予防接種を受けてよいと言われましたか。		いいえ	はい	
(12) 最近1か月以内に熱が出たり、病気にかかりましたか。 病名( )		はい	いいえ	
(13) 今まで妊娠高血圧症候群と診断されたことがある、あるいは、妊娠高血圧症候群を発症するリスクが高いと言われたことはありますか。		はい	いいえ	
(14) 妊婦健診を受けた際の医師に、RSウイルス感染症の予防接種を控えるように言われましたか。		はい	いいえ	
(15) 今日の予防接種について質問がありますか。		はい	いいえ	
私は、医師の診察・説明を受け高齢者帯状疱疹予防接種の効果や副反応などについて理解したうえで、接種を希望します。また、この予診票が予防接種の安全性の確保を目的としていることを理解し、本予診票が京都市に提出されることに同意します。				
令和 年 月 日				
被接種者(被接種者が満10歳未満の場合は保護者)自署				
※ 自署できない者は代筆者が署名し、代筆者氏名及び被接種者との続柄を記載				
代筆者署名 (続柄)				
<b>【医師記入欄】</b> 以上の問診及び診察の結果、今日の予防接種は( 可能 ・見合わせる )と判断します。 本人に対して、予防接種の効果、副反応及び予防接種健康被害救済制度について、説明をしました。				
医師署名 又は 記名押印				

## RSウイルス感染症 予防接種券(妊婦用)

※ボールペンで記入してください(鉛筆や消えるボールペンは不可)。

番号

ふりがな  
被接種者氏名生年月日 □□年□□月□□日  
(和暦) □□年□□月□□日  
歳 月母子健康  
手帳番号 □□□□□□□□

住 所 京都市 区

電 話 番 号 - -

接種日時点の妊娠週数 週 日目

接種年月日 □□年□□月□□日  
(和暦) □□年□□月□□日

以下医療機関記入欄

接種年月日 年 月 日 1 回目

所在地

名称

医師名

使用ワクチン

RSウイルス  
(アブリスボ)

ロット番号

医師記入欄

※ 特記事項			
※ 異常所見			
使用ワクチン名	接種量	実施場所・医師名・接種年月日	
ワクチン名	(筋肉内)	実施場所	
Lot No.	0.5	医師名	
有効期限	ml	接種年月日	年 月 日

※ 必要があると判断された場合のみ記入してください。

接種後の状況

☆次欄は被接種者が来院、また連絡のあった場合に記入してください。

来院又は連絡日	月 日	接種後	日
副反応			
発熱	℃	接種後	日
	℃	接種後	日
腫脹・硬結	程度 強・中・弱	接種後	日から
	部位 全身・体の一部 ( )		
その他	鼻汁・不元気・食欲低下・咳・その他 ( )		
	※ 接種前湿しんのあった者 状態 増悪・不変・軽快		
	大きさ 拡大・縮小		
再来院口			
治療・検査・経過観察	要・否	カルテ作成 社・国・自費、No.	
備考			

京都市保健福祉局

# RSウイルス感染症予防接種（妊婦用）のお知らせ（説明書）

予防接種法に基づく定期接種として下記のとおり実施いたします。

- 対象者** 接種日時時点で京都市に住民票がある、妊娠 28 週 0 日から 36 週 6 日までの妊婦の方  
※ 過去の妊娠時に組換えRSウイルスワクチン（母子免疫ワクチン）を接種したことのある方も対象です。
- 接種回数** 妊娠ごとに 1 回（筋肉内に接種）
- 実施場所** 京都市予防接種協力医療機関
- 実施期間** 年間を通じて実施します。
- 接種方法** 京都市予防接種協力医療機関において、予約方式で行います。まず、医療機関に申し込み、接種日時の予約をして、別紙予診票及び予防接種券に必要事項を記入し、指定日時に予防接種を受けてください。その際、必ず本人確認書類（マイナンバーカード等）及び母子健康手帳をご持参ください。  
※ 予防接種券内に「母子健康手帳番号」は右詰めでお願いします。なお、ご不明な場合は空欄のまま構いません。
- 料 金** 無料です。

QR

（協力医療機関はこちら）

## RSウイルス感染症とは

RSウイルスは特に小児や高齢者に呼吸器症状を引き起こすウイルスで、1 歳までに 50%以上が、2 歳までにほぼ 100%の乳幼児が、少なくとも 1 度は感染するとされています。感染すると、2~8 日の潜伏期間ののち、発熱、鼻汁、咳などの症状が数日続き、一部では気管支炎や肺炎などの下気道症状が出現します。初めて感染した乳幼児の約 7 割は軽症で数日のうちに軽快しますが、約 3 割では咳が悪化し、喘鳴（ゼーゼーと呼吸しにくくなること）や呼吸困難、さらに細気管支炎の症状が出るなど重症化することがあります。

## 母子免疫ワクチンとは

生まれたばかりの乳児は免疫の機能が未熟であり、自力で十分な量の抗体をつくることができないとされています。母子免疫ワクチンとは、妊婦が接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時から病原体に対する予防効果を得ることができるワクチンです。

接種スケジュール	妊娠 28 週 0 日から 36 週 6 日までの間に 1 回接種。 ※接種後 14 日以内に出生した乳児における有効性は確立していないことから、妊娠 38 週 6 日までに産産を予定している場合は医師に相談してください。
接種に注意が必要な方	・接種によって妊娠高血圧症候群の発症リスクが上がるという報告もあるため、妊娠高血圧症候群の発症リスクが高いと医師に判断された方や、今までに妊娠高血圧症候群と診断された方 ・筋肉内に接種をするため、血小板減少症や凝固障害を有する方、抗凝固療法を実施されている方

## ご注意

以下の項目に該当する方は、接種できません。

- ① 明らかな発熱を呈している方（通常 37.5℃以上をいいます。）
- ② 重篤な急性疾患にかかっていることが明らかな方
- ③ 組換えワクチン（アブリスボ®）の成分によってアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな方

以下の項目に該当する方は、接種に注意が必要です。

- ① 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患等の基礎疾患を有する方
- ② 予防接種を受けて 2 日以内に発熱や全身の発疹などのアレルギー症状があった方
- ③ けいれんを起こしたことがある方
- ④ 免疫不全と診断されている方や近親者に先天性免疫不全症の方がいる方
- ⑤ 組換えワクチン（アブリスボ®）の成分に対してアレルギーを起こすおそれのある方

## ワクチンの効果

		生後 90 日時点	生後 180 日時点
母子免疫ワクチンの効果	RSウイルス感染による医療受診を必要とした下気道感染症の予防	6割程度の予防効果	5割程度の予防効果
	RSウイルス感染による医療受診を必要とした重症下気道感染症*の予防	8割程度の予防効果	7割程度の予防効果

\*医療機関への受診を要するRSウイルス関連気道感染症を有するRSウイルス検査陽性の乳児で、多呼吸・SpO<sub>2</sub>93%未満・高流量鼻カニューラまたは人工呼吸器の装着・4時間を超えるICUへの収容・無反応・意識不明のいずれかに該当と定義しています。

## ワクチンの安全性

ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。また、頻度は不明ですが、ショック・アナフィラキシーがみられることがあります。

また、ワクチン接種による妊娠高血圧症候群の発症リスクに関して、薬事承認において用いられた臨床試験では、妊娠高血圧の発症リスクは増加しませんでした。海外における一部の報告では、妊娠高血圧症候群の発症リスクが増加したという報告もあるものの、交絡因子等の影響の可能性のあることから解釈に注意が必要であるとされています。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

発現割合	主な副反応
10%以上	疼痛*(40.6%)、頭痛(31.0%)、筋肉痛(26.5%)
10%未満	紅斑*、腫脹*
頻度不明	発疹、蕁麻疹

\*ワクチンを接種した部位の症状

## 他のワクチンとの同時接種・接種間隔

医師が特に必要と認めた場合は、他のワクチンと同時接種が可能です。

ただし、海外の知見で、百日咳菌の防御抗原を含むワクチンとの同時接種で、百日咳菌の防御抗原に対する免疫応答が低下するとの報告があり、接種間隔等については医師と相談してください。

## 接種を受けた後の注意点

- 1 ワクチンの接種後 30 分程度は安静にしてください。また、体調に異常を感じた場合には、速やかに医師へ連絡してください。
- 2 注射した部分は清潔に保つようにしてください。接種当日の入浴は問題ありません。
- 3 当日の激しい運動は控えるようにしてください。

## 予防接種健康被害救済制度について

定期の予防接種により引き起こされた副反応により、健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく補償を受けることができます。ただし、その健康被害が予防接種により引き起こされたものか、別の要因によるものなのかの因果関係を国の審査会にて審議され、予防接種によるものと認定された場合に補償を受けることができます。接種を受けたご本人及び出生した児が対象となります。

お問合せ先 【おかけ間違いにご注意ください】

○京都いつでもコール (TEL : 075-661-3755/FAX : 075-661-5855)

○京都市保健福祉局医療衛生企画課 (TEL : 075-222-4421/FAX : 075-708-6212)

※お住まいの区の区役所・支所保健福祉センター子どもはぐくみ室でも、ご相談を承ります。

QR

(詳しくはこちら)

生まれてくる赤ちゃんを守る

RSウイルス

感染症ワクチンが

無料になりました

妊娠28週0日  
~36週6日  
までの方が対象

令和8年  
4月1日から  
定期接種により  
全額公費負担



お母さんが接種することで  
赤ちゃんにも抗体が移る  
「母子免疫ワクチン」です

接種場所

京都市予防接種協力医療機関

問合せ先

京都市保健福祉局 医療衛生企画課  
☎075-222-4421 FAX 075-708-6212

無料

歯科健診も受けましょう。赤ちゃんのためにも。  
パートナーと一緒に。

「妊婦・パートナー歯科健診」詳しくはこちら



「RSウイルス母子免疫ワクチン定期接種」

詳しくはこちら



# RSウイルス感染症ワクチンについて

## Q1 RSウイルス感染症とは？



RSウイルスは特に小児や高齢者に呼吸器症状を引き起こすウイルスで、1歳までに50%以上が、2歳までにほぼ100%の乳幼児が、少なくとも1度は感染するとされています。

2010年代には、生後24か月未満の乳幼児における年間のRSウイルス感染症発生数は12万人～18万人であり、3万人～5万人が入院を要したとされています。また、入院例の7%が何らかの人工換気が必要としたとする報告もあります。

## Q2 感染すると、どんな症状が出るの？



感染すると、2～8日の潜伏期間ののち、発熱、鼻汁、咳などの症状が数日続き、一部では気管支炎や肺炎などの下気道症状が出現します。初めて感染した乳幼児の約7割は軽症で数日のうちに軽快しますが、約3割では咳が悪化し、喘鳴（ゼーゼーと呼吸しにくくなること）や呼吸困難、さらに細気管支炎の症状が出るなど重症化することがあります。

## Q3 母子免疫ワクチンとは？



生まれたばかりの乳児は免疫の機能が未熟であり、自力で十分な量の抗体をつくることができないとされています。母子免疫ワクチンとは、妊婦が接種すると、母体内で作られた抗体が胎盤を通じて胎児に移行し、生まれた乳児が出生時から病原体に対する予防効果を得ることができるワクチンです。

## Q4 ワクチンの効果は？

以下の効果が期待できます。特に人工呼吸器の装着等が必要となる重症下気道感染症については、生後90日時点で8割程度、生後180日時点で7割程度の予防効果があるとされます。

	生後90日時点	生後180日時点
RSウイルス感染による医療受診を必要とした下気道感染症の予防	6割程度の予防効果	5割程度の予防効果
RSウイルス感染による医療受診を必要とした重症下気道感染症の予防	8割程度の予防効果	7割程度の予防効果

## Q5 副反応は出るの？

ワクチンを接種後に以下のような副反応がみられることがあります。接種後に気になる症状を認めた場合は、接種した医療機関へお問い合わせください。

発現割合	主な副反応
10%以上	疼痛*(40.6%)、頭痛(31.0%)、筋肉痛(26.5%)
10%未満	紅斑*、腫脹*
頻度不明	発疹、蕁麻疹

\*ワクチンを接種した部位の症状

## Q6 予防接種健康被害救済制度について



予防接種は、感染症を予防するために重要なものですが、健康被害(病気になったり障害が残ったりすること)が起こることがあります。極めてまれではあるものの、副反応による健康被害をなくすことはできないことから、救済制度が設けられています。

接種を受けたご本人及び出生した児が対象となります。制度の利用を申し込む時は、京都市医療衛生企画課(075-222-4421)までご相談ください。

京都市保健福祉局医療衛生企画課 ☎075-222-4421

京都市民の方が